



各 位

2022年5月17日

会社名 株式会社 精工技研
代表者名 代表取締役社長 上野 昌利
(コード番号 6834 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員管理部長 斎藤 祐司
(TEL. 047 - 388 - 6401)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、このたび、2022年度を初年度とする5ヶ年の中期経営計画『マスタープラン2022』を策定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 前中期経営計画の総括と中期経営計画『マスタープラン2022』の位置付け

当社グループは、2016年度から2021年度までの6ヶ年に渡り、前中期経営計画『マスタープラン2016』を遂行してまいりました。『マスタープラン2016』は、当社グループの第50期となる2022年度の経営目標を、連結売上高250億円、連結営業利益25億円以上と掲げて取り組みましたが、期中に生じた米中貿易摩擦や新型コロナウイルス等の外部環境の変化や、新規顧客開拓や新製品リリースの遅れ、M&Aの不成立等が重なり、誠に不本意ながら未達となりました。

新しい中期経営計画『マスタープラン2022』は、さらなる50年先も社会の維持継続や進歩発展に貢献し続ける“社会に必要とされる企業グループ”を目指して新たにスタートを切る、最初の5年間(2022年度～2026年度)と位置付けます。未達に終わった前中期経営計画の反省を元に、外部環境の変化を自らの成長の機会に替え、経済価値の最大化(事業の成長)と社会価値の最適化(サステナビリティ)の両立を目指してまいります。

2. 中期経営計画『マスタープラン2022』基本戦略

(1) 経済価値の最大化(事業の成長)

- ① 顧客接点の活性化
 - ・顧客とのコンタクト量と質の向上
 - ・既存顧客との取引シェア拡大
 - ・新規顧客開拓
- ② 新製品・新技術開発の加速
 - ・市場情報に基づく製品開発
 - ・開発期間のマネジメント強化
 - ・戦略的な特許取得
- ③ ものづくり力の強化
 - ・AI、自動化等による生産効率向上
 - ・安くて良い部材の安定調達
 - ・顧客要求に応える品質の維持

(2) 社会価値の最適化(サステナビリティ)

- ① 経営基盤の強化
 - ・多様な人材が生き活きと働ける環境整備
 - ・クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
 - ・脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

3. 中期経営目標

(1) 損益指標

前中期経営目標（売上高 250 億円、営業利益 25 億円以上）に再チャレンジ

	2021 年度実績	2022 年度計画	2026 年度計画
連結売上高	16,188 百万円	18,400 百万円	25,000 百万円
新製品売上比率	—	—	30%
連結営業利益	1,524 百万円	1,740 百万円	2,500 百万円
営業利益率	9.4%	9.5%	10.0%

(2) 株主還元

配当性向 30%以上を目途に安定的に株主還元を実施

	2021 年度実績	2022 年度計画	2026 年度計画
当期純利益	1,150 百万円	1,240 百万円	—
1 株当たり配当金	50 円	50 円	—
配当性向	39.7%	36.8%	30%以上で安定配当

《参考 URL》

◆ IR 情報 > 中期経営計画

https://www.seikoh-giken.co.jp/irinfo/briefing_b.html

以 上